

No. 038

2021年9月17日

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

## 自然体験イベント事故情報

事故名	磯観察で足を岩にぶつけて異物残存、1ヶ月後に手術	被災者	年齢 10歳台	性別 男
事故状況	発生日時 2021年8月7日(土) 午前11時頃			
	発生場所 公園・里山・海・川・溪谷・その他			
	<b>事故状況 (何をして、どのように、どうなった)</b> スタッフの一人で、磯での参加者の観察をサポート中に、足が滑り右足の側面を岩にぶつけた。			
事故処置	<b>誰が、どのように処置</b> その場では、本人からの申告がなかったので処置せず。ぶつけた瞬間はかなり痛かったものの、しばらくして痛みは和らいだので様子を見ようと考えた。ひと月ほど経過しても、痛みと腫れが残っていたので、病院に行くと異物が入っているということで、翌日の手術となった。(9月6日午後 診察 9月7日午後 手術)			
	<b>ケガの部位・症状</b> 右足外側側部			
	<b>推定原因と再発防止策は (分かる範囲で記入下さい)</b> <被災者・イベント主催者の再発防止策> 本人もなぜ足が滑ったか不明とのこと。普段から魚釣りなどで磯に慣れている人で、マリンシューズを履くなど装備もしっかりしていた。足を下したところが藻などで滑りやすくなっていたのと、本人の注意が緩んだ瞬間が重なり、強くぶつけてしまったと推察される。本人が注意深く行動するしかないと思われる。			
総務部会コメント	○磯で滑って怪我をするのは想定される事故であり、活動の前に主催者からあらためて危険な場所では注意して行動するように指導していただくとともに、イベント終了後に事故がなかったか、ささいなものでも報告を求めるようにすることが必要だろう。 ○主催者からはサンダルは不可で、靴下と運動靴を履くようにと指導されているということで、今回はそれを守っていたが、その上の部分を激しくぶつけたということなので、危険性が予測される場所では注意をするとともに、長靴や厚めの長ズボンなどで露出している部分を守るという対策をとるしかないだろう。			